

今年度の所属委員会

都市防災委員会 委員

危機管理室、都市局、建築住宅局、消防局の
所管事業についてチェックしています。

外郭団体に関する
特別委員会 委員

神戸市が25%以上出資している各団体(32団体)
の事業についてチェックしています。

神戸市交通事業審議会
参与

市営交通事業に関することについてチェック
しています。

決算特別委員会
第3分科会

港湾局、経済観光局、危機管理室、消防局、
住宅都市局、都市局の各決算について審査します。



令和元年第2回定例市会(9月18日~12月6日)

決算特別委員会 第3分科会 (都市局質疑) 10月8日

1. 都市空間向上計画について

質問 かじ

この計画はこれから50年先の神戸を見据えて、
これからの神戸が避けて通れない人口減少に対
応したまちづくりを行うことが目的とされてい
るが、郊外から駅周辺へのアクセス機能につい
て、**地域コミュニティ交通など充実させてい
くことが必要**と考えるがどうか。

答弁 都市局長

地域コミュニティ交通については、人口減少
時代において大変重要であり、市民・事業者・
行政の三者が力を合わせて取り組んでいく必要
があると思っている。**ニーズをしっかりと把握
しながら、地域の皆さんと一緒に検討し
対応してまいりたい。**

質問 かじ

計画策定にあたって、これからの神戸を支えて
いく**若い世代の声や意見が大変重要**と思ってい
る。将来の神戸について真剣に考えてもらうい
い機会であり、積極的に働きかけていく必要が
あると思うがどうか。

答弁 都市局長

今後の神戸を支える**若い世代の意見を聞くこと
は大変重要**だと思っている。多くの若者に知っ
てもらって、共感を持って頂き、今後の神戸を
考えるきっかけになるように積極的に働きかけ
てまいりたい。

2. 高校生への通学費助成について

質問 かじ

昨年9月から北神急行を利用する高校生への通学費助成が実施されている。一方で、北神急行に次いで運賃が高いような鉄道事業者を使っている場合、もしくはバスと電車を併用して利用している場合も通学費が高額になっている現状がある。昨年度、高校生を対象としたアンケートが実施されたが、それぞれの意見を踏まえて今後の制度をどうされるのか伺いたい。

答弁 都市局長

高校生の通学費助成に関するアンケートについて分析の結果、運賃の高い鉄道や対距離料金制のバス路線、乗り継ぎ回数が多いルートなどで通学費が高くなる傾向が見られている。制度面、費用面の両面において課題の解決が可能かどうか今後十分に検討してまいりたい。

要望 かじ

通学手段等の違いによる**平等性・公平性**についても、より**慎重に検討**いただきたい。

3. 新長田エリアの活性化について

質問 かじ

新長田駅南地区では今年6月に県市合同庁舎が完成し、まちなぎわい創出にも寄与している。この地区の復興事業について震災から四半世紀が経とうとしているが、今後の事業見通しは。

答弁 新都市事業部長

新長田駅南地区においては、震災復興事業として災害に強いまちづくりを進めてきた。事業計画の残る工区について、マンションや複合施設さらに県立総合衛生学院の移転などが検討中だ。

一部都市計画の変更等があるが早期に事業終息のめどを立てたいと考えている。

質問 かじ

新長田へ訪れる人の増加に向けて、バスでのアクセス向上策として、**駅前にバスロータリーを整備**できないかと考えるがどうか。

答弁 都市局担当部長

現在、**バスロータリーの整備を含む駅前広場の再整備を検討**しており、交通利便性や拠点性を向上させ、さらなるまちの活性化を図りたい。

4. 西神中央駅の駅前空間の活用について

質問 かじ

西区役所の新庁舎、文化芸術ホールの整備等進んでいるが、これにあわせて**駅前空間の活用が一層重要**と考えている。人が集まるようなにぎわいのある取り組みをお願いしたいが、現状どのような考えがあるか。

答弁 市街地整備部長

プレンティ広場について現在、検討会を設けながら整備の検討をしている。バリアフリー化やにぎわいづくりの観点から議論を進めたい。

オールドタウン対策や賑わいづくりについて、民間事業者の視点も取り入れながら、駅前を地域の拠点性、ブランド力向上にも資する空間として積極的に活用してまいりたい。



要望 かじ

西神中央のエリアについては、**西区の拠点として今後より活性化**していくために、**利便性を高めて市民が利用しやすい空間**になるように強く要望しておきたい。

1. 市内公共交通のあり方及び施策の進め方について

質問 かじ

少子・超高齢化、人口減少が進む今後の神戸のまちづくりについて、マイカーでの移動に過度に依存する社会からの転換が求められている。今後、市内公共交通網の充実について政策の重要度は増すと考えている。

特に西区では交通空白地域が多く、区役所や出張所で地域における公共交通の課題を集約し、本庁と連携しながら、これからの公共交通がどうあるべきかをしっかりマネジメントしてもらいたいと考えるがどうか。



答弁 久元市長

区役所では地域コミュニティ交通を地域の皆さんと考え、全体の公共交通網は市全体で考えていく必要がある。このように公共交通は鳥の目と虫の目として役割分担しながら進んでいくことが適当だと考える。一方で区役所における交通需要の把握も非常に大事であり、ご指摘も踏まえ、本庁と区役所の役割分担を検討していきたい。

要望 かじ

公共交通は、市民生活になくてはならないライフラインであり、都市の装置としてさらに充実させていけるよう、市として**事業者や市民の声に耳を傾けながら、コーディネートをする役割**を果たしてもらいたい。

かじ 視点

教育現場を見てきた「かじ幸夫」の思い

私は地域活動の一環で学校現場に長く関わってきました。日々子供たちに向き合い頑張っている教職員に心を寄せて今こそエールを送り応援していく必要があると思っています。

「すべては子供たちのために」

その思いを共有できる先生方とはしっかり連携します。一生懸命頑張る教職員を支えていく、そうすることで子供たちはより充実した学校生活を送ることができると思っています。



中学校給食を試食

10月29日本会議のお昼に中学校給食を試食させていただきました。安全面、衛生面、そして経費の面でも多くの苦労があるだろうと感じながらそれを踏まえ率直に美味しくいただきました。事業者の方、給食検討委員会の方など、中学生の

ために真摯に議論いただいた関係の皆さんに心から敬意を表しつつ、今後も**子供たちの声をより反映**していただき、よりよい給食にしてほしいと思います。



2. 水素利活用事業の推進について

質問 かじ

現在、神戸市は水素スマートシティ神戸構想の推進に取り組んでいる。日本における水素エネルギー利活用の最先進都市として、エネルギー政策の積極的な展開に期待が寄せられている。水素利活用事業の推進では、普通乗用車タイプのFCV2台が公用車として導入されているが、これに加え、**量産型燃料電池バスを導入**することが有効と考えるが見解を伺いたい。

答弁 久元市長

量販型燃料電池バスの導入については、市民に水素エネルギーの理解を深めていただく。またエネルギーの効率的な利活用という意味でも大変意義があると考えている。水素ステーションの整備に多くの課題があるが、水素エネルギー

利活用のトップを走りたいと考えている神戸市として、何とか**導入することができないか、可能性を模索していきたい。**

要望 かじ

今後、神戸市が水素エネルギーの最先進の都市として日本国内に発信していくという強い決意を示すためにも、**量販型燃料電池バス**についてはまずは公用車として導入に向けて検討頂きたい。



3. 学校現場におけるマネジメント機能の強化について

質問 かじ

学校現場は子供たちの学ぶ場という役割だけではなく、保護者や地域の関係団体からの多様な問い合わせや要望が寄せられ、地域の拠点機能までが求められており、非常に多忙を極めている。その中で、特に教頭業務に関して、学校内の必要なマネジメント機能を確保するため、小・中学校に教頭と同列で係長級の事務職員を配置して業務軽減を図り、**教頭**には文字どおり**教員の指導**をはじめ、**各学年の様子**や**学級経営に関して指導・助言に専念**してもらおう体制構築ができないかと考えているが見解を伺いたい。

答弁 都市局長

教頭業務の一部を補佐する総務・学習指導担当や、教頭業務補助スタッフを配置するなど、教頭のマネジメント機能強化を図ってきた。新たな係長級の事務職員の配置については国の財政措置を含め難しいが、これまで取り組んできた学校業務の優先順位づけや、教員と教員以外の職員等の役割分担の徹底を図るとともに、教頭がより学校運営のマネジメント機能を発揮できるような支援ということについて着実に進めてまいりたい。

要望 かじ

学校現場の多忙さにしっかり向き合い、**必要な支援**をお願いしたい。



神戸市会のホームページで、
録画中継を見ることができます！

